

令和5年度

事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

学校法人 松本学園

目 次

1. 法人の概要 2

- (1) 建学の精神、教育理念・目的、教育目標
- (2) 法人の沿革
- (3) 設置する学校・学部・学科等
- (4) 設置する学校・学部・学科等の収容定員
- (5) 設置する学校・学部・学科等の入学者（入園児）数等
- (6) 設置する学校・学部・学科等の在学者（在園児）数
- (7) 設置する学校・学部・学科の卒業（修了）者（卒園児）数
- (8) 役員の概要
- (9) 評議員の概要
- (10) 教職員の概要
- (11) 施設等の状況
- (12) その他

2. 事業の概要 8

- (1) 学校法人松本学園 事業の概要
- (2) 松本看護大学 事業の概要
- (3) 松本短期大学 事業の概要
- (4) 松本短大幼稚園 事業の概要

3. 財務の概要 34

- (1) 収支の状況
- (2) 主な財務比率について
- (3) 主な施設・設備の整備状況

- 別紙 1 学校法人松本学園 役員・評議員名簿
- 別紙 2 松本看護大学・松本短期大学 令和 5 年度 専任教職員 名簿
- 別紙 3 松本看護大学・松本短期大学 令和 5 年度 非常勤教員 名簿
- 別紙 4 松本看護大学・松本短期大学 令和 5 年度 進路状況
- 別紙 5 松本看護大学・松本短期大学 令和 5 年度入学試験 入試状況一覧表
- 別紙 6 松本看護大学・松本短期大学 令和 5 年度 年間行事予定表
- 別紙 7 松本短大幼稚園 令和 5 年度 専任教職員 名簿
- 別紙 8 松本短大幼稚園 令和 5 年度 年間計画表
- 別紙 9 過去 5 年間の収支の推移
- 別紙 10 財務比率比較表
- 別紙 11 令和 5 年度決算状況

令和 5 年度 学校法人松本学園 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神、教育理念・目的、教育目標

建学の精神及び松本看護大学・松本短期大学の教育理念、松本短大幼稚園の教育目標は以下のとおりです。

－建学の精神－

人々の健康と福祉及び教育における学術の教育研究の府として、信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識をもって、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くす人間性の涵養と、自立した専門職業人（ケアスペシャリスト）の育成を行い、ひいては地域の人々に貢献する。

－松本看護大学 教育理念、目的－

松本看護大学は、教育基本法ならびに学校教育法に基づき、医療保健福祉において、深く専門の学芸を研究教授し、豊かな教養と専門学術および職業に必要な能力を修得させ、学生が自らの人格を培うことを援助する。更に、地域社会における医療保健福祉の向上に貢献する人材を育成するとともに看護学の発展に寄与することを教育の理念・目的とする。

－松本短期大学 教育理念－

松本短期大学は建学の精神を受けて、幼児保育学科、介護福祉学科を設置し、地域の人々の保健医療福祉と教育に関する現実の多様なニーズに応えることのできる保育士及び幼稚園教諭、介護福祉士のケアスペシャリストの養成教育を行う。

・保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士として、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」の育成

・地域の保健医療福祉及び教育に貢献できる人材の育成

－松本短大幼稚園 教育目標－

やさしく・つよく・すこやかに

(2) 法人の沿革

昭和 45 年 12 月	学校法人松本学園 設立認可（長野県知事）
	松本保育専門学校 設置認可
昭和 46 年 4 月	松本保育専門学校 開校
	初代理事長に上条憲太郎（元長野県教育長）就任
	初代学長に横内秀雄（元長野県教育長）就任
昭和 47 年 1 月	学校法人松本学園 組織変更認可（文部大臣）
	松本短期大学 幼児教育学科 設置認可
昭和 47 年 4 月	松本短期大学 開学（文部大臣）
	松本短期大学 幼児教育学科 開設 [入学定員 50 名]

昭和 49 年 8 月	松本短大幼稚園 設置認可 開園
	初代園長に片山光義（前学園常任理事）就任
昭和 52 年 4 月	第 2 代理事長に片山光義（松本短大幼稚園園長）就任
	第 2 代学長に上条伽男（前信州大学教授）就任
昭和 63 年 4 月	第 3 代学長に丸山求（前学園副学長）就任
平成 3 年 11 月	第 4 代学長に小山光男（前本学教授）就任
平成 4 年 12 月	松本短期大学 介護福祉学科 設置認可（文部大臣）
平成 5 年 3 月	介護福祉士養成施設 指定認可（厚生大臣）
平成 5 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 開設 [入学定員 80 名]
平成 7 年 4 月	松本短期大学 専攻科福祉専攻 開設 [入学定員 20 名]
平成 7 年 8 月	第 2 代園長に片山司（学園理事長職務代理）就任
平成 8 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 100 名に変更]
平成 9 年 3 月	第 3 代理事長に片山司（松本短大幼稚園園長）就任
平成 10 年 4 月	第 5 代学長に山崎健治（介護福祉学科学科長・教授）就任
平成 16 年 4 月	松本短期大学 幼児教育学科を幼児保育学科へ学科名称変更
	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 80 名に変更]
平成 17 年 12 月	松本短期大学 看護学科 設置認可（文部科学大臣）
	看護師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長）
平成 18 年 4 月	松本短期大学 看護学科 開設 [入学定員 60 名]
	第 6 代学長に村山忍三（介護福祉学科学科長・教授）就任
平成 20 年 4 月	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 100 名に変更]
	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 80 名に変更]
	第 7 代学長に山崎健治（本学前学長・教授）就任
平成 23 年 4 月	第 4 代理事長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任
	第 3 代園長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任
平成 24 年 4 月	第 8 代学長に塚田昌滋（元市立岡谷病院院長）就任
平成 26 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 65 名に変更]
	松本短期大学 看護学科 [入学定員 70 名に変更]
平成 28 年 4 月	第 9 代学長に木内義勝（元松本大学松商短期大学部学部長）就任
平成 30 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 50 名に変更]
平成 31 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 40 名に変更]
”	松本短大幼稚園 施設型給付幼稚園へ移行
令和 2 年 4 月	松本短大幼稚園 認定こども園へ移行 [利用定員：1号 75名,2号 45名,3号 33名]
令和 2 年 10 月	松本看護大学 設置認可（文部科学大臣） [入学定員 70 名]
令和 2 年 12 月	保健師学校、看護師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長）
令和 3 年 3 月	松本短期大学 専攻科福祉専攻 廃止
令和 3 年 4 月	松本看護大学 開学
”	松本看護大学 看護学部 看護学科 開設（入学定員 70 名）
”	松本看護大学 初代学長に上條節子（元松本短期大学教授）就任
令和 5 年 3 月	松本短期大学 看護学科 廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	設置する学部・学科等
松本看護大学	令和 3 年 4 月	看護学部 看護学科 [令和 3 年度開設]
松本短期大学	昭和 47 年 4 月	幼児保育学科 [昭和 47 年度開設] 介護福祉学科 [平成 05 年度開設]
松本短大幼稚園	昭和 49 年 8 月	令和 2 年 4 月 認定こども園へ移行

(4) 設置する学校・学部・学科等の収容定員

(人)

学校名	学部等	入学定員	収容定員	備考
松本看護大学	看護学部	70	210	令和 3 年 4 月開設
	合計	70	210	
学校名	学科等	入学定員	収容定員	備考
松本短期大学	幼児保育学科	100	200	
	介護福祉学科	40	80	
	合計	140	350	
学校名		利用定員	収容定員	備考
松本短大幼稚園		160	200	

(5) 設置する学校・学部・学科等の入学者(入園児)数等(令和 5 年 4 月入学者)

(人)

学校名	学部	入学者数	備考
松本看護大学	看護学部	67	
	合計	67	
学校名	学科等	入学者数	備考
松本短期大学	幼児保育学科	72	
	介護福祉学科	22	
	合計	94	
学校名		入園者数	備考
松本短大幼稚園		44	0 歳児：0、1 歳児：12、2 歳児：11、3 歳児：19、 4 歳児：1、5 歳児：1

(6) 設置する学校・学部・学科等の在学者(在園児)数(令和5年5月現在) (人)

学校名	学部学科等	在学者数							合計
		R05	R04	R03					
		入学生	入学生	入学生					
松本看護大学	看護学部	67	75	78	-	-	-	-	220
	合計	67	75	78	-	-	-	-	220

学校名	学科等	在学者数							合計
		R05	R04	R03	R02	R01	H30	H29	
		入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	
松本短期大学	幼児保育学科	72	102	2	-	-	-	-	176
	介護福祉学科	22	27	-	-	-	-	-	49
	合計	94	129	2	-	-	-	-	225

学校名	在園児数							合計
	0歳児	1歳児	2歳児	満3歳	3歳児	4歳児	5歳児	
松本短大幼稚園	0	14	11	1	44	43	36	149

(7) 設置する学校・学部・学科の卒業生(卒園児)数、学位授与数(令和6年3月卒業生) (人)

学校名	学部学科等	卒業(修了)者数	学位授与数	備考
松本看護大学	看護学部	-	-	
	合計	-	-	

学校名	学部学科等	卒業(修了)者数	学位授与数	備考
松本短期大学	幼児保育学科	104	104	
	介護福祉学科	25	25	
	合計	129	129	

学校名	卒園児数	備考
松本短大幼稚園	35	

(8) 役員の詳細

1) 役員

別紙1 参照

2) 就任された役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	選任条項	備考
理事	竹岡 雄一郎	常勤	6-1-2	令和5年4月1日 理事就任

3) 退任された役員

なし

4) 理事会の開催状況

年月日	主な議題	備考
令和 5 年 5 月 24 日	令和 4 年度決算・事業報告についてほか	
令和 5 年 9 月 8 日	私立学校法改正についてほか	
令和 5 年 11 月 30 日	松本短大幼稚園の定員変更と園則の変更についてほか	
令和 6 年 1 月 22 日	令和 5 年度補正予算（案）ほか	
令和 6 年 2 月 15 日	令和 6 年度予算・事業計画（案）についてほか	

(9) 評議員の概要

1) 評議員

別紙 1 参照

2) 評議員の状況

特記事項なし

3) 評議員会の開催状況

年月日	主な議題	備考
令和 5 年 5 月 24 日	令和 4 年度決算・事業報告についてほか	
令和 6 年 1 月 22 日	令和 5 年度補正予算（案）ほか	
令和 6 年 2 月 15 日	令和 6 年度予算・事業計画（案）についてほか	

(10) 教職員の概要

1) 教員数

別紙 2、3、7 参照

2) 専任教員の状況

松本看護大学では、在学者数（2 学年から 3 学年）増加に伴い、令 56 年 4 月 1 日付けにて、近藤恵子講師、奥原香織講師、宮坂光長助教の 3 名を、また、令和 5 年 6 月 1 日付けにて間瀬壽美講師の 1 名を新規採用しました。また、法人内異動にて令和 5 年 4 月 1 日付けで垣内いづみ講師、塩澤綾乃講師、五十嵐佳寿美助教、牛山陽介助教、笠原潮美助手、大谷健史助手の 6 名を配置しました。なお、令和 5 年度末までの退職者は 3 名です。

松本短期大学では、教員の退職などに伴い令和 5 年 4 月 1 日付けにて、田中秀明教授（幼児保育学科）、田岡紀美子講師（幼児保育学科）、齋藤博紀助教の 3 名を新規採用しました。また、永石喜代子教授を看護学科から幼児保育学科へ配置転換しました。なお、令和 5 年度末までの退職者は 1 名です。

松本短大幼稚園は、利用者の増加に伴い、令和 5 年 4 月 1 日付けにて、大久保愛加（保育教諭）を新規採用しました。

3) 職員数

別紙 2、3、7 参照

4) 専任職員の状況

松本看護大学・松本短期大学では、新規職員の採用はありませんでした。令和 5 年度までの退職者は 2 名です。

(11) 施設等の状況

1) 現有施設設備の所在地

主な施設等の状況は下表のとおりです。

所在地	施設等	面積等	帳簿価格	摘要
長野県松本市笹賀 (松本看護大学・松本短期大学)	校地他	17,738.57 m ²	70,200 千円	駐車場用地含む
	校舎	11,465.94 m ²	1,168,026 千円	延べ面積
長野県松本市寿台 (松本短大幼稚園)	校地	5,381.00 m ²	70,099 千円	
	園舎	1,150.53 m ²	237,070 千円	延べ面積
長野県松本市笹賀 (職員宿舎他)	敷地他	3,799.72 m ²	269,525 千円	
	宿舎他	129.17 m ²	317 千円	

2) 当該年度の主な施設設備の取得または処分

- ①松本看護大学・松本短期大学 ネットワーク機器更新 2,427 千円
- ②松本看護大学・松本短期大学 図書館複合機更新 594 千円
- ③松本看護大学・松本短期大学 食堂給茶機更新 416 千円
- ④松本看護大学・松本短期大学 AED 更新 270 千円

(12) その他

1) 当該年度の重要な契約

なし

2) 係争事件の有無

なし

3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事項

なし

2. 事業の概要

(1) 学校法人松本学園 事業の概要

学校法人松本学園は、法人設立以来、安定的な経営基盤を確立し、建学の精神および教育理念、教育目標に則った教育の具現化に取り組んでいます。

昨今の人口減少や競合校の増加など、学園を取り巻く厳しい環境の中でも教育・研究活動を永続的に発展させ、地域社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

<主な事業の計画>

- 1) 認証評価に向けた取り組み
- 2) 第2期中期経営計画の推進、見直し、検証
- 3) 電子帳簿保存法、インボイス制度への対応
- 4) スクールバス運営体制についての検討
- 5) 松本短大幼稚園 50 周年に向けての検討
- 6) 松本短期大学学生数確保への取り組み検討
- 7) 施設設備に関する計画
- 8) 運営に関する計画

<計画の進捗状況>

1) 認証評価に向けた取り組み

松本短期大学において令和 6 年度に大学・短期大学基準協会による認証評価が予定されており、法人として、松本短期大学の ALO（認証評価連絡調整責任者）および自己点検・評価委員会と協力し、提出資料である自己点検・評価報告書等の作成をおこなっております。報告書等の認証評価に係る資料の提出は令和 6 年 6 月を予定しております。また、理事・監事・評議員に対し、認証評価制度及び松本短期大学の自己点検・評価活動、認証評価への取り組みに対しての情報提供を理事会・評議員会にて報告した他、認証評価における基準Ⅳ（主に理事長のリーダーシップ、ガバナンスについて）について、理事会・評議員会にて確認を行い、報告書作成に向けて意見聴取を行いました。

2) 第2期中期経営計画の推進、見直し、検証

第2期中期経営計画は 2021（令和 3）年度～2025（令和 7）年度における本学園の将来像を描いた計画として、令和 2 年度の策定し、計画に沿った行動計画の策定、活動を行ってまいりました。令和 5 年度は、作成当時の数値目標と実績値の実態を検証し、入学定員充足率の目標値及び 2025（令和 7）年度の学生生徒納付金収入目標値の見直しを行いました。また、財務計画についても確定額及び現状に則した計画内容に見直しを行い、令和 6 年 2 月 15 日の理事会および評議員会にて審議され、承認されました。

3) 電子帳簿保存法、インボイス制度への対応

会計処理に関する法改正に対し、請求書等の書類作成、証憑書類の保存方法について、所管官庁の資料や会計事務所等に管の上、制度の施行に合わせ対応いたしました。

4) スクールバス運営体制についての検討

帰宅時間帯に乗車人数が集中する日時においては臨時増便を実施するようドライバーと連携し実施し、混雑防止に努めております。令和 6 年度に向けて、仮設改札口の移動に合わせて乗車位置、待機方法の変更等を行うとともに

に、今後の利用者数の状況に応じて適宜運行体制の見直しを行ってまいります。

5) 松本短大幼稚園 50 周年に向けての検討

松本短大幼稚園と検討を進めた結果、令和 6 年度に記念事業を行うこととし、具体的な内容については幼稚園と検討を進めております。

6) 松本短期大学学生数確保への取り組み検討

令和 6 年度の入試制度案について、入試委員会および事務局と共に検討を行い、より出願につながる入試方法を検討し、教授会にて審議を行いました。広報活動においては、令和 6 年度入試および入学予定者数の実績を踏まえ、令和 5 年度の広報体制を検証し、令和 6 年度の活動内容について広報企画推進委員会および事務局と共に検討を進めている他、県内の 18 歳人口の趨勢、志願状況等を勘案のうえ、定員変更を含めた抜本的な改革について検討を進めており、令和 6 年度の理事会・評議員会にて協議する方向で予定しております。

7) 施設・設備の整備

令和 5 年度に予定しておりました施設・設備についての計画は以下のとおりです。

松本看護大学・松本短期大学

①ネットワーク環境の整備

通信端末 (PC,スマートフォン等) を活用した学習方法の増加に対応するため、令和 4 年度末に VPN ルーターを更新し、年度内の通信状況の改善 (障害発生数の減少) が確認されました。また、ネットワークセキュリティ機器 (UTM) を更新し、外部からの不正アクセス、攻撃への対応、内部からの有害サイトへのアクセスブロック等への環境を強化いたしました。

②介護実習室ベッドの入れ替え (2 台)

松本短期大学介護福祉学科と確認した結果、令和 4 年度までの入れ替えにて必要な整備が完了したため、令和 5 年度の実施は行いませんでした。

③教室視聴覚設備の整備

各教室において視聴覚機器の点検を実施し、不備のあるプロジェクターについては修理、マイクについて更新を行いました。

④1 号館事務室複合機の更新についての検討

事務室内の複合機 2 台についての更新について検討した結果、現状に使用状況に問題はないと判断しました。令和 6 年度以降、事務局での使用状況や経年劣化による不備等が発生した場合、更新について再検討していきます。

⑤1・2 号館間非常歓談の塗装工事の検討

検討の結果、使用面に大きな支障がないことから、令和 5 年度の実施は見送りました。

松本短大幼稚園

①物置設置工事 (遊具格納施設)

財務状況を勘案した結果、令和 6 年度以降に実施として計画変更いたしました。

②園舎・遊戯室屋根塗装工事

補助金の要件や屋根の状態を検証した結果、屋根の状態を見極め、令和 6 年度以降に実施予定として計画変更いたしました。

③スクールバス 1 号車の買い替え

計画策定時において、エアコン等の部品調達が困難なことから買い替えについて検討するとしておりましたが、

部品調達及び修理対応が解決したため買い替えについては当面不要と判断しました。

④補助金の積極的活用

長野県の補助金を活用し、下記の設備・備品を整備しました。

- (1) 教育支援整備事業補助金（新型コロナ対策） 320,000 円

8) 運営に関する事項

①私立学校法改正に向けての対応

私立学校法改正に伴う寄附行為の変更について理事長主導のもと改正案について検討を進めております。改正案については令和 6 年度の理事会・評議員会にて検討を行い、改正の手続きを進めてまいります。

<今後の課題>

- ・安定した経営基盤の確立（入学者数及び定員充足率確保のための対応）
- ・学習環境維持・向上のための施設設備の点検・更新
- ・松本短期大学認証評価への対応
- ・私立学校法改正への対応（寄附行為変更）

(2) 松本看護大学 事業の概要

建学の精神

前述のとおりです。

教育理念、目的

前述のとおりです。

教育目標

松本看護大学が養成する人物像とその人材像を内包する3つの柱を策定し、この柱を軸に人材の育成を目標とする。

1) 養成する人物像

生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通じて知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要かつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者

2) 養成する人物像に内包される3つの柱

(1) 人間性

- ・生命の尊厳に基づく倫理観を有し、幅広く深い教養と誠実な人間性を備え、多様な価値観を尊重し、人々との関係を成立・発展できる人材
- ・生涯を通じて自ら学び、社会人としてまた、専門職業人として自己研鑽と自己成長を通じ看護の発展と地域貢献のために主体的・積極的・意欲的に行動できる人材

(2) 看護実践力

- ・看護に必要な知識の追求と素養を有し、科学的根拠・理論的知識を元に安全に個別的に最善の看護が実践できる人材
- ・生命力、自然治癒力、意志力といったその人のもてる力を最大限生かした看護が実践できる人材

(3) 地域貢献

- ・地域の保健医療福祉に対して深い洞察力と分析力を有し、その現状を理解し、また、健康課題を明らかにし、地域の発展のために多職種の人々と協働し、貢献できる人材

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

- (1) 入学後の大学教育に必要な基礎学力を有している人
- (2) 看護・保健・医療・福祉分野に広く関心のある人
- (3) 人間の生命を大切に思い、誠実な態度で他者と関わることができる人
- (4) 看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している人
- (5) 人々と良い関係を持ち、自分の考えを的確に表現する力が備わっている人
- (6) 主体的に考え行動できる人
- (7) 大学で学んだ看護学を地域社会の為に生かそうという志のある人

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

- (1) 多様な人々との関係を成立・発展できる能力を身につけるための科目を教養科目、専門科目に配置する。
- (2) 主体的行動力を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門科目に配置する。
- (3) 地域貢献力と多職種連携能力を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。
- (4) 課題発見能力と課題解決能力を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。
- (5) 看護の知識と看護実践力を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。
- (6) 地域の多様な健康課題に対応できる力を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置

する。

(7) 授業形態は教育の目的に応じて講義形式、演習形式、実習形式の3つに区分し、下記の方針に従った教育方法を行う。

- ・知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式をとる。
- ・態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、演習形式をとる。
- ・理論と実践の統合を図り、臨地の場において理論的知識や技術を看護実践に応用展開するための能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式をとる。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の卒業要件単位を取得し、次のような能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し学士（看護学）の学位を授与する。

(1) 多様な人々との関係を成立・発展できる能力

- ・人間性豊かな生命の尊厳に基づく倫理観を有し、多様な人々との関係を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を有する

(2) 主体的行動力

- ・自立した社会人として主体的かつ意欲的に行動することができる

(3) 地域貢献力と多職種連携能力

- ・在宅看護学、救急・災害看護学、公衆衛生看護学の選択分野を学修し、保健医療福祉の関連分野の人々と連携・協働し、地域保健医療の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている

(4) 課題発見能力と課題解決能力

- ・看護現場における課題を発見し、その解決のための方法を探究し、その成果を実践することができる
- ・看護の発展に寄与できる自己研鑽力と基礎的研究能力を有する

(5) 看護の知識と看護実践力

- ・地域の特性や対象となる人々を理解し、尊重し、多様な人々の看護に必要な知識を身につけ、科学的根拠に基づき安全な看護を実践する能力を有する

(6) 地域社会と多様な健康課題に対応できる力（保健師課程）

- ・科学的根拠と文化的感受性をもって地域社会の健康課題を把握・分析・診断する能力を有する
- ・集団や組織に対し支援・協働・施策化を通じ、人々の健康増進能力を高め、健康課題を解決するための基盤となる能力を有する

1) 入学試験に関する状況（令和6年度入試）「別紙5参照」

入学定員70名に対し、最終的に65名の（男13名、女52名）の入学生とまりました。

2) 教員組織、教員数並びに各教員が有する学位及び業績

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」）

3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

「シラバス（看護学部 看護学科）」に記載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「概要」→「松本看護大学 令和5年度 シラバス」）

4) 学修の成果に係る評価及び卒業にあたっての基準

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

(学修の成果に係る評価：トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「4. 学修成果に係る評価」)

(卒業にあたっての基準：トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「5. 卒業にあたっての基準(必修・選択別の必要単位修得数及び修得可能学位)」)

5) 授業料、入学金、その他徴収する費用

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「1. 教育研究上の基礎的な情報」→「5. 授業料、入学金その他大学が徴収する費用」)

6) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

<https://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「6. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援」)

<主な事業計画>

- 1) 教育に関する計画
- 2) 学生支援に関する計画
- 3) 入学者の受け入れに関する計画
- 4) ステークホルダーとの連携に関する計画
- 5) 施設・設備に関する計画
- 6) 運営に関する計画
- 7) その他

<計画の進捗状況>

1) 教育に関する事項

(1) 1期生の実践領域の臨地実習開始に伴う看護力の評価と課題の明確化

1期生が3年生となり、臨地での各領域の実習が後期より行われました。実習終了後、領域ごとの実習評価資料を実習委員会が中心として取りまとめを行い、現時点における学生の看護力の到達度の把握と次年度の課題について明確化しました。取りまとめた資料は学内だけでなく、令和6年3月の実習指導者報告会にて実習施設の担当者と共有し、次年度の実習における資料として活用しております。最終的な評価は令和4年度の統合実習終了後に総括する予定です。

(2) 改正後カリキュラムにおける領域間連携強化

2期生以降のカリキュラムにおいては「地域・在宅看護学」が全看護領域の基盤となっております。地域社会との関連や多職種との連携・協働について、効果的な教育内容とするため、領域間で連携し、教務委員会を中心として授業内容(シラバス)を作成しております。令和6年度以降はカリキュラム変更後最初の領域実習が実施されるため、PDCAサイクルを活発化させ、より効果的な授業内容を模索していきます。

(3) 「看護の応用と発展」科目の実施について

「看護の応用と発展」科目では、学生は3つの分野(「救急・災害看護学分野」、「地域・在宅看護学分野」、「公衆衛生看護学分野」)から1つの分野を選択し、領域の専門性を深めていきます。3年生(1期生)は各領域の選抜が行われ、それぞれの領域に応じた選択科目を履修しています。4年次には3つの領域における臨地実習が行われるため、実習先との調整を進めてきました。

(4) 大学教員の役割(教育、研究、社会貢献)について

教育活動について、授業評価の結果について、担当教員ごと検証し、学生に対してweb上にてフィードバックを行いました。研究活動において、令和5年度は科学研究費補助金の申請を9件申請（研究代表者として）しましたが採択には至りませんでした。また、継続研究の科学研究費補助金は1名1件、分担者としての科学研究費補助金は1名1件、厚生労働行政推進調査費補助金（厚生科研費）は1名1件ありました。自己研究活動は活発に行われており、大学全体として研究時間の確保に取り組んでおります。今後は研究成果の公表のため、大学での紀要作成に向けて紀要委員会を中心として検討を進めてまいります。教員の外部における活動として、外部講師としての招へいや、安曇野赤十字病院の看護研究指導など行い、地域貢献に取り組んでおります。

2) 学生支援に関する事項

a. With COVID-19 禍の学生生活

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類に分類されました。学内では5月以降、対話・接触等について可能な限り制限は行わず、グループワークや学生間での対話の機会を積極的に設けることにより、コミュニケーション能力、自己発信力を高める工夫を行ってまいりました。

b. チューターによる面談

年度最初、後期最初、年度終了時の3回、学生とチューターの面談を実施いたしました。チューターの主な役割は、①勉学の支援（授業の理解、レポート、試験対応等の取り組み方や勉強の仕方、キャリアに関する事等）の支援、②対人関係上の支援（同級生や学外、指導教員等の人間関係）③生活上の支援であると考えています。大学生活において教員とよい人間関係を構築することは、社会化の第1歩と考えており。様々な人生観や看護観、恋愛論など、親とは話せないけれど、社会経験のある大人と話すことは新しい世界を知ることになります。困るから相談に行く、それができることは重要です。何もなくても話にいけることもまた必要です。私たち教員からも学生に気軽に声をかけることなども重要であります。そのゆとりが勤務の中にあることが必要と思います。そんなチューター関係になれば学生も教員も楽しい大学生活であり、充実していくのではないかと思います。今まだ本学ではチューター制度としてそのようなゆとりあるかかわりはできていないように思われますので、今後、教員と学生との距離が近い親身な教育を小規模の大学だからこそ行えるのではないかと思います。ぜひそのような関係ができるよう学生と教員との信頼関係構築に継続して取り組んでいきます。

また保護者との連携も必要と考え、3年生の保護者を対象とした説明会を実施いたしました。新4年生になるにあたり、実習、就職、国家試験等について、家庭内での支援についての協力依頼や大学（教員）側がどのように支援していくか情報共有することにより、保護者との信頼関係を構築することができたと考えています。また、希望者に対してはチューターとの個別面談を実施いたしました。

c. 高等教育修学支援新制度

昨年度に申請し認定された高等教育修学支援新制度の対象機関として、授業料及び入学金に関する減免制度を活用しています。

今年度にこの制度を活用した学生の実績は下表のとおりです。

表. 令和5年度 松本看護大学 高等教育修学支援新制度活用実績

学部	学年	授業料				入学金		合計(円)
		前期		後期		人数	減免額(円)	
		人数	減免額(円)	人数	減免額(円)			
看護学部	1	5	816,900	1	116,600	5	466,900	1,400,400
	2	11	2,683,600	12	3,033,300			5,716,900
	3	15	4,200,500	15	3,733,200			7,933,700
合計		31	7,701,000	28	6,883,100	5	466,900	15,051,000

(参考：令和5年度 松本看護大学 奨学金の受給状況)

学部	学年	日本学生支援機構				看護職員 修学資金	その他	合計 (件)
		計	一種	二種	給付			
看護学部	1	33	11	17	5	5	8	46
	2	45	14	19	12	0	10	55
	3	53	20	16	17	2	18	73
合計		131	45	52	34	7	36	174

※看護職員修学資金＝長野県看護職員修学資金

3) 入学者受け入れに関する事項

a. 入試広報活動（個別学校見学、オープンキャンパス等）について

令和5年度は学生の個別学校見学を45件と目標値をしており、実績数は47件でした。入試過去問題の閲覧だけを目的としていた来校者についても、本学の施設見学や在校生の雰囲気を感じ取っているようであり、広報活動として有意義なものとなっていると考えています。

進学相談会は2回実施しました。保護者を除いた11名の参加があり、相談内容については詳細な質問が多く、特に奨学金については必ず説明を求められました。次に多かったのは成績と受験についての質問、次は面接の内容などの質問が主でした。

高校に赴いての看護系の模擬授業や説明会は、22校で実施しました。業者主催の大規模型会場でのガイダンスは8回参加しました。オープンキャンパスについては昨年度から1回増加し、4回開催しました。参加者は実施回数の増加もあり、昨年度より94名多い356名となりました。これらの活動について、全体として昨年度より出席者・参加者は増加しましたが、入学定員の確保には至りませんでした。

令和6年度入学生は、男子学生の入学がやや減少しの20%を占めています。（昨年は36%であった）出身の地域性で見ると昨年とほぼ同じ傾向である。中南信が87%～89%、北信・投信・県外もほぼ同じ傾向でした。県外・通信等の割合が若干増加していますが、今後は県外高校への広報活動をより積極的に行い、受験者増加を図る必要があると考えています。

表：出身の地域・高校、男女比、について、

学生(入学年度)	入学数	男女比			中信 人数 %	南信 人数 %	北信 人数 %	東信 人数 %	県外他 人数 %
		女性	男性	男女比					
令和3年度	79名	64名	15名	81:19	44名 55.7%	15名 19.0%	13名 16.5%	2名 2.5%	5名 6.3%
令和4年度	76名	67名	9名	88:12	42名 55.3%	25名 32.9%	4名 5.3%	1名 1.3%	4名 5.3%
令和5年度	67名	43名	24名	64:36	45名 67.2%	15名 22.4%	3名 4.5%	1名 1.5%	3名 4.5%
令和6年度	65名	52名	13名	80:20	42名 64.7%	12名 18.5%	4名 6.2%	3名 4.6%	4名 6.2%

b. 学試験区分別入学者数の検討

令和5年度までの志願状況や、高校の進路指導教諭からの聞き取り状況を鑑み、入学試験区分ごとの定員について

て入試委員会にて検討を進めて、令和 7 年度入試より変更後の入試を実施いたします。

4) ステークホルダーとの連携に関する事項

a. 公開講座

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類移行を受けて、松本短期大学との共同委員会である地域交流委員会を中心として検討した結果、年 3 回の公開講座を実施いたしました。松本看護大学が主体となったものとしては、令和 5 年 8 月 26 日に「認知症になっても大丈夫」をテーマとし、上條節子学長・教授、小林たつ子学部長・教授を講師とし、地域住民を中心として多くの参加者を対象に認知症と地域社会での生活について講演を行いました。同日には体組織測定器を使用した健康測定も実施し、有意義なイベントとなりました。

令和 5 年度 公開講座開催状況

開催日	内容	講師等
5 月 8 日	『認知症になっても大丈夫』 1. 地域で安心して生活するために 2. 認知症について	・上條節子(松本看護大学 学長・教授) ・小林たつ子(松本看護大学 副学長・学部長・教授)
10 月 14 日	「ぐりとぐらのかすてら」作成	・松本短期大学幼児保育学科 教員・学生 ・協力:JA 神林女性部「にこにこふらいばん」
11 月 25 日	松本短期大学 介護福祉学科 30 周年記念イベント 第 II 部「新しい介護福祉士の役割を考えるシンポジウム」	シンポジスト: ・遠藤明日香(グループホームほっとハウスみさとの家 介護福祉士) ・田中晃二郎(南信勤労者医療協会赤砂在宅介護部長) ・丸山朝絵(在宅型有料老人ホームアリス 施設庁) ・福田明(松本短期大学介護福祉学科教授) コーディネーター: ・合津千香(松本短期大学介護福祉学科教授)

5) 施設・設備に関する事項

2. (1) 学校法人松本学園 事業の概要に記載しています。

6) 運営に関する事項

a. 情報提供体制に関する計画

学長が意思決定を行うため、まずは学部長に意見を集約する体制を前年度より実施しております。各領域、各委員会における大学として意思決定を行わなければならない事項を領域長や委員長が学部長と相談する時間を設け、学部としての方向性を学部長から学長に示し、決定に向け事前に情報を共有することとしました。継続してこの体制を確立していくことで、より迅速に意思決定を行うことができると考えています。

b. 認証評価への準備

令和 5 年度は認証評価に向け、令和 4 年度自己点検・評価報告書の作成いたしました。活動報告書には委員会活動の目標やそれに沿った活動内容が行われたことが自己点検できるよう、来年度の課題の欄を設け、PDCA サイクルを進めていきたいと考えています。また、継続した自己点検活動を進めるため、令和 5 年度の自己点検・評価報告書の作成も開始いたしました。

7) その他

a. FD 活動

来年度以降の授業に活かすため、学生による授業評価を実施しました。実施方法は QR コードを学生がスマートフォン等で読み取り、学生自身の授業に取り組む意欲や教員の作成した資料のわかりやすさなどを 4 段階で評価するアンケート形式で継続して実施しました。自由記載欄も設け、学生は回答を Forms に入力し、担当者が Forms により自動集計された結果を出力し授業担当者に配布しています。回答に対するフィードバックについては、今年度より Teams 上で公開し、学生が確認できるように改善いたしました。

FD 研修会は 2 月 28 日（水）に松本大学 准教授 矢崎久氏を講師として「合理的配慮の実践と課題」をテーマにご講演いただき、大学における合理的配慮について他大学の事例を交えた現状と課題、本学における対応方法について学びました。

b. 学生動向

令和 5 年度の学生動向は下表のとおりです。

表. 令和 5 年度 松本看護大学 学生動向

学部	学年	年度当初在籍者数	退学者数	除籍者数	卒業者数	年度末在籍者数
看護学部	1	67	0	0	-	67
	2	75	0	0	-	75
	3	78	1	0	-	77
計		220	1	0	-	219

<今後の課題>

- ・看護師国家試験対策
- ・就職支援
- ・卒業式対応
- ・入学生確保について検討
- ・教学体制の充実

(2) 松本短期大学 事業の概要

建学の精神

前述のとおりです。

教育理念

前述のとおりです。

教育目標

松本短期大学は教育理念を受けて、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」を育成するために、2学科に共通する「ひとの命と健康を考える」「ひとの可能性を考える」「ひとの生活を考える」「ひとの権利を考える」「学修の基礎力を培う」の5つの柱を掲げ、ケアスペシャリストの養成教育を行う。また、地域のニーズを把握し、地域に寄与できる実践能力を育成するとともに、地域に密着し、幅広い視野に立ち、連携・協働できる人間関係調整力を養う。

1) ケアスペシャリストとしての人間性と倫理観の育成

本学では、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士に必要な専門職としての自覚・責任感・倫理観をもち、信頼関係を築くことができるケアスペシャリストとしての豊かな人間性を育成する。

2) ケアスペシャリストに必要な専門的知識・技術・思考能力の育成

本学では、専門職に必要な基本的、かつ専門的な知識と技術を教授し、その知識と技術を安全に提供でき、さらに応用できる思考の基礎を育成する。

3) 地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに応える実践能力の育成

本学では、地域における保健医療福祉及び教育の多様なニーズを把握し、個別のニーズに対応できる確かな実践能力を育成する。

(幼児保育学科)

幼児保育学科では、本学の建学の精神、2学科の教育理念、教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

1. 保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。
2. ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。
3. 保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。
4. 地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。

(介護福祉学科)

介護福祉学科では、本学の建学の精神、教育理念、教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

1. 豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
2. 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
3. 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

(幼児保育学科)

豊かな人間性を備えたケアスペシャリストをめざし、専門知識と技術を身につけ、地域社会に貢献できる人を育成します。それに基づき、幼児保育学科では、以下のような学生を求めます。

- 1) 子どもの育ちと生活に興味・関心がある。
- 2) 誠実に人と向き合える。

- 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる。
- 4) 学びや体験の機会に意欲的に取り組むことができる。
- 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある。

(介護福祉学科)

本学は「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としています。それに基づき、豊かな感性を備え人と関わり、専門的知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学生を求めます。

- 1) 介護福祉や社会福祉に関心を持ち、学ぶ意欲をもっている
- 2) 人の立場になって考えることができる
- 3) 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- 4) 人とともに協力して活動に取り組むことができる
- 5) 入学後の学修に必要な基礎学力がある

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(幼児保育学科)

教育目標とそれに関わるディプロマ・ポリシーに鑑み、保育及び幼児教育に関わる課題を、理論と実践の両面から思考し、また実践できる能力を養うため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成しています。

授業科目は、教養基礎科目と専門科目があり、これを2年間に配当します

- (1) 教養基礎科目は、本学の目標である「命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリストの育成」という観点から、2学科共通の教養基礎科目の枠組みに基づき編成しています。
- (2) 専門科目は、【保育の基礎】【子どもの成長と発達】【感性を高める想像力と創造力】【児童家庭福祉】【保護者支援】【保育実践力】【教養力】【自己形成】の各分野から配置しています。

(介護福祉学科)

カリキュラムは、「教養科目」と領域「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」で編成し、これらを2年間に配当しています。

「教養科目」は、専門職としての価値・知識・技術をもって成長し続ける力を養うための土台作りの科目として編成されています。特に豊かな人間性を育むこと、短期大学での学び方の基礎に身につけること、進路設計・進路選択を考えることを重視しています。

領域「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」は、介護福祉士国家試験受験資格に関わる専門科目から構成されています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、修了認定の方針

(幼児保育学科)

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与します。

- 1) 基本的教養を身につけ、誠意と思いやりのある豊かな人間性を備え、福祉、保育、教育に携わる社会的責任と倫理観について理解している。
- 2) ケアスペシャリストとして必要な保育及び幼児教育に関する基礎的知識と技術を習得している。
- 3) ケアスペシャリストとしての自覚を持ち、他者との信頼関係構築の重要性を理解できている。
- 4) 社会福祉の視点に立って、その最善の利益を保証できる思考力と実践力を修得している。
- 5) 保護者ニーズを的確に捉え、地域・関連機関と連携することの必要性を理解している。

(介護福祉学科)

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を

履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

- 1) 温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。
- 2) 介護を必要とする人の自立支援と、地域におけるその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。
- 3) 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。
- 4) 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。
- 5) 多職種や地域住民との連携・協働の必要性を理解できている。

1) 入学試験に関する状況（令和6年度入試） 「別紙5参照」

幼児保育学科は入学定員100名に対し53名の入学者、介護福祉学科は入学定員40名に対し13名の入学者となりました。幼児保育学科及び介護福祉学科の両学科ともに入学定員を確保することができませんでした。

2) 国家試験・資格・免許状に関する状況

幼児保育学科

幼児保育学科では令和5年度卒業生数104名のうち、101名が保育士資格を取得、100名が幼稚園教諭二種免許状を取得いたしました。

介護福祉学科

介護福祉学科では、平成29年度より、介護福祉士養成校の卒業生に対しても介護福祉士国家試験が始まりました。カリキュラムに特別講座を盛り込むほか、正課外においても模試や対策講座、チューター単位での勉強会等を実施し、国家試験対策を行ってきました。令和6年1月29日（日）に第36回介護福祉士国家試験が実施され、令和4年度の介護福祉学科入学生24名が受験し、24名全員が合格という結果となりました。

介護福祉士国家試験 各年度の受験者数、合格者数、合格率などは下表のとおりです。

受験年度	学科等	卒業生数	受験者数				合格率 (%)		
			当該卒業年度 受験者	既卒 受験者	合格者数	不合格者数	本学	全国 平均	
H30	介護	36	35	35	-	33	2	94.3	73.7
	専攻科	1	1	1	-	1	0	100.0	
R01	介護	37	37	37	-	35	2	94.6	69.9
	専攻科	4	4	4	-	4	0	100.0	
R02	介護	29	28	28	-	26	2	92.9	69.9
	専攻科	4	3	3	-	3	0	100.0	
R03	介護	26	26	26	-	24	2	92.3	72.3
R04	介護	33	31	31	-	30	1	96.8	84.3
R05	介護	25	24	24	-	24	0	100.0	82.8
合計		195	189	189	-	180	9	Ave96.8	75.4

3) 教員組織、教員数並びに各教員が有する学位及び業績

ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」)

4) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

各学科のシラバス [履修ガイド] に記載しています。シラバスはウェブサイトに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「概要」→「令和3年度 シラバス [履修ガイド]」)

5) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準

ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準 (必修・選択別の必要単位取得数及び取得可能学位)」)

6) 授業料、入学金、その他徴収する費用

ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「1. 教育研究上の基礎的な情報」→「4. 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用」)

7) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「5. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援」)

8) 卒業者数、修了者数、学位授与数

前述のとおりです。

<主な事業の計画>

- 1) 教育に関する計画
- 2) 学生支援に関する計画
- 3) 入学者の受け入れに関する計画
- 4) ステークホルダーとの連携に関する計画
- 5) 施設・設備の整備計画
- 6) 運営に関する計画
- 7) その他

<計画の進捗状況>

1) 教育に関する計画

a. 学生が成長する教育の実践

幼児保育学科

正課の科目だけでなく、空きコマを活用した学習機会の確保 (子どもの音楽Ⅲ、Ⅳ・ピアノ実技) に努めました。補講日程を年度当初に計画し、学生に空きコマの周知を行い、学生は計画的、主体的に空きコマを利用し、学習することができ、専任教員も学生に指導が可能になりました。また学習機会の確保だけに留まらず、実技到達度の学習成果が学生、教員にも確認できるグレード表を作成し、学習成果を可視化ができるようにしました。キャリアサポートのための模擬試験等はゼミ時間を利用し、実施しました。ボランティアや市町村主催のイベントは、新型コ

コロナウイルスの影響が減少したため、グループ単位での参加が可能となり、市民との交流の中で、更に専門性を深めることができました。イベント情報は市町村からも発信していただき、市民にも周知していただきました。

介護福祉学科

教養科目としての「初年度教育」「地域生活と文化」等において、読む・聞く・書く・考える・見る・感じる・交流することを全教員で意図的に行いました。入学前課題の生物基礎の試験やビブリオバトル、感謝を伝える、笹賀めぐり、信州の文化・産業・郷土食等を教材として個人の基礎学力や感性や能力を伸ばすような取り組みを行いました。また、情報リテラシーの実践として、自分の興味のある課題について情報収集し、課題論文の作成、パワーポイントによるプレゼンテーションを行いました。2年次の介護福祉研究発表につなげることができました。さらに「キャリアデザイン」は2年間にわたり、実習前教育としてのマナー講座や就職相談への参加、国家試験対策講座等によりキャリア教育を行いました。

このような教養教育と専門教育をあわせ、今年度も長野県社会福祉協議会主催の「介護技術コンテスト（ケアコン）」に2部門の優秀賞を受けることができました。また、介護福祉士国家試験に全員合格をし、全員の就職が決まり、それぞれの個性が輝き、成長する姿を見ることができました。

b. 「学びの軌跡」の適切な運用と検証、改善

学習成果の質的・量的測定については前回の第三者評価（認証評価）において「向上・充実のための課題」とされており、これらの課題を受けて、令和4年度に学習成果を学生および教員が把握するための資料として「学びの軌跡」を作成しました。令和5年度より運用を開始し、すべての学生に対し、教員による面談を実施し、個々の学習成果獲得状況を指標化し、自己分析することが可能となりました。今後、継続的な運用を行うとともに、教育課程委員会を中心として課題、改善を行っていきます。たとえば、は次回認証評価に向けた情報収集、分析、改善方法について令和5年度以降も継続して検討を行っていきます。

2) 学生支援に関する計画

a. 学生生活の支援

新入生にはあらかじめ学校として把握しておく必要のある健康に関する事項を申告していただき、学科として必要な情報は本人の同意を得た上で、共有しています。保健室では常時看護師が常駐し、学生の健康管理を行っていますが、保健室だけでなく学生支援委員会など教職員のチーム体制で対象学生の問題解決に取り組みました。メンタルヘルスで保健室の職員で対応できない場合は、外部のカウンセラーや産業医と連携し、対処しました。

b. 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスに関しては、令和5年5月より、5類に移行されましたが、前年に引き続き、手指消毒、体温測定、換気の徹底など感染防止対策を徹底して実施し、毎朝の健康チェックをすすめ、感染者が発生しても、学内での感染拡大を防ぐことができ、対面授業を実施することができました。国・県などの方針変更に即しては、危機管理委員会を中心として松本看護大学と一体となり検討し、実行してきました。

実習においては、感染の影響はあったものの、日程調整など行った上、全員の実習を実施することができました。

c. その他

学生への復学支援

健康上の理由や家庭事情、成績結果など学生が休学を選択する理由は様々ですが、休学により学業から離れてしまうことで、修学意欲が低下してしまう学生がいるのが現状であり、休学からそのまま退学に結びついてしまう学生もいます。このような選択を学生がしなくて済むよう、学生の修学意欲を持続させるため、学校から休学生に対し様々な面において接点を持つよう努めています。また、授業料納入の負担を軽減させるため、期首からの休学であれば、授業料減免制度を設け運用しています。今年度は介護福祉学科で1名の休学者がおりました。理由としては体調（精神）面の不調となっております。

各学科の休学者数の推移

学科	令和3年度	令和4年度	令和5年度
幼児保育学科	3	0	0
介護福祉学科	0	1	1
看護学科	6	5	-
計	9	6	1

進学、就職支援

進学、就職活動支援に関しては、事務局学生部と学生支援委員会（教員組織）が連携して行っています。

学生部では、県内外の保育園、幼稚園、障害者支援施設、老人福祉施設、病院などから送付される求人票やパンフレットを施設別に整理して、関係学科別にコーナーを設けて学生の閲覧に供しています。県内求人は求人票を、県外求人は求人一覧表を学生部前の掲示板に張り出して求人情報を提供しています。

就職に関しては、各学科の授業の中で、キャリア支援に関して時間を取って注意点を説明し、個別の指導に関しては各学科のチューター、ゼミ担、学生部の担当者等が履歴書のチェック、面接指導等を実施しています。幼児保育学科では自治体向けの就職説明会、介護福祉学科では介護福祉施設等の就職説明会を学内にて開催し、学生への就職支援を実施しました。

進学については、全国の大学、短期大学、専門学校から送付される入学案内などに関し、進学関連コーナーを設けて閲覧に供し、進学希望の学生には学科と連携して個別指導をしています。

令和5年度卒業生および修了生の進学、就職データは「別紙4」をご参照ください。

高等教育修学支援新制度による授業料減免

令和2年度から実施されている高等教育の就学支援新制度である授業料減免について、令和5年度も対象機関として認定されました。今年度にこの制度を活用した学生の実績は下表のとおりです。

学科	授業料				入学金		計(円)
	前期		後期		人数	減免額(円)	
	人数	減免額(円)	人数	減免額(円)			
幼児保育学科	21	4,753,900	18	3,927,000	9	1,133,700	9,814,600
介護福祉学科	5	1,343,400	5	1,136,800	4	666,800	3,147,000
計	26	6,097,300	23	5,063,800	13	1,800,500	12,961,600

奨学金

日本学生支援機構、長野県保育士修学資金、長野県介護福祉士等修学資金、生命保険協会介護福祉士養成給付型奨学金からの奨学金受給状況は下表のとおりです。

学科	学年	日本学生支援機構				保育士 修学資 金	介護福 祉士等 修学資 金	生命保 険協会 給付型 奨学金	合計 (件数)
		計	一種	二種	給付				
幼保	1	40	11	20	9	20			60
	2	49	18	17	14	22			71
介護	1	9	2	3	4		11		20
	2	4	2	1	1		10	1	15
合計		102	33	41	28	42	21	1	166
昨年同期		134	54	42	38	44	23	1	205

特待生

今年度の特待生は次の 2 名です。

幼児保育学科 2 年生

介護福祉学科 2 年生

3) 入学者の受け入れに関する計画

a. 入学定員確保に向けた取り組み

受験者の多くがオープンキャンパス参加者であることから、高校訪問、ガイダンス時において積極的にオープンキャンパスへの参加を促す広報活動を展開しました。高校訪問においては季節ごと計画的に県内全域と隣接県に訪問し、オープンキャンパス前、入試出願前など計画的に行いました。

幼児保育学科では、令和 5 年度の入学者が 72 名と昨年度より大幅に減少したため、安定した入学定員の確保をめざし、日常的に高校生と交流しながら保育の魅力・専門性をオープンキャンパスやガイダンス、高校訪問等で伝えていきました。高校からの出前授業依頼も教員が積極的に参加し、高校生の興味あるテーマで執り行ってきました。令和 5 年度から幼児保育学科が開催した、3 歳から高校生までを対象とした「サマーラボ 2023 みんなあつまれ」は大変好評で、参加した高校生の出願率も高かったため、入学に導くことができました。広報企画推進委員会の調査によると、オープンキャンパス参加者の出願率が高いという傾向にあること、高校生の進路決定の時期が早まってきた状況を鑑み、高校 2 年生を主な対象とするオープンキャンパスを年度末の 3 月に開催しました。また、コロナ禍により途絶えていた地域との連携活動を再開し、積極的に学科の特色をアピールしてきました。

介護福祉学科においては、令和 5 年度には 22 名と定員を下回ったので、更なる広報活動及び諸施策の見直しなど強化を図り行いました。入学生確保の困難要因としては、生徒が他の養成校と介護現場への就職する選択肢があること、高校教員全体特に進路担当教員や保護者が介護へのイメージが良くないこと、少子化に加え、コロナ禍による家庭の経済状況が改善されないことなどが挙げられます。高校生への情報提供として、今までのホームページや SNS に加え、登録者限定によるユーチューブでのケアセラピストの実践内容やケアコンテスト優秀賞受賞作品 2 グループを含む内容等を通し、具体的に魅力をアピールできるようにしました。また、年間計画に特別オープンキャンパスを 9 月に追加したため高校訪問も 8 月下旬を実施し、少しでも入学生確保につながるようにしました。昨年までの広報内容の追加として、高校生や教員・保護者に出前講座を準備し、高校訪問を年度末に追加したこと、介護現場の施設に高校生や職員の身近な方に養成校への進学を勧めること、長野県就学資金活用による経済的な負担軽減すること、新たにケアセラピストの資格を追加した等のチラシを作成し、生徒・進路相談教員・保護者に将来や経済的な不安を軽減し、教育の充実を広報しました。

志願者・入学者の獲得に向けて様々な広報活動を行ってまいりましたが、幼児保育学科、介護福祉学科共に昨年度より入学者が減少する結果となりました。広報活動、入試制度の見直しを実施し、令和 6 年度の広報活動、入試制度の見直しを行い、令和 7 年度入学者の確保に努めていきます。

b. 入学前教育の充実

幼児保育学科では、「保育者」となるための基礎から、入学後の専門的な学びにスムーズに移行できるように、基礎学力の向上などの入学前教育を実施しました。入学予定者には、ピアノ・漢字の書き取り・保育の基礎・SPI の 4 つの課題を行わせ、入学後のオリエンテーションで課題成果の確認をしました。また、入学に対して不安のある学生に対しては、入学前に面談や課題の進捗状況を確認するなど、入学に向けたサポートを行ってきました。

介護福祉学科では、コロナ禍以前には、介護分野に関わる動機を確立するために高齢者の施設等へのボランティアの課題がありましたが、受け入れが困難な状況にあるので現在は行えていません。今年度は入学後に必要な基礎教育として、読み書き考えることと知識の定着をする目的で、指定読書の感想文と漢字検定 3 級程度の学習、基礎生物の「からだのしくみとはたらき」に関する単元について行っています。入学後には、漢字と生物基礎の試験を

行い、チューターより読書感想文を個別に返しながら個別面談をしています。

4) ステークホルダーとの連携に関する計画

a. 地域とのつながり

教員による出前授業や自治体の委員会活動等により、地域とのつながりを継続してきました。幼児保育学科では、松本市生涯学習課のイベント（クリスマス会）はじめ、ゼミごとでボランティア活動にも積極的に参加し、学生の専門性を高めることができました。活動制限が緩和されていく中で、学生の地域での活動は徐々に拡大し、参加することが可能となりました。介護福祉学科では、県社協が行う訪問講座や出前授業として7回に渡り高校や小学校に出向いた他、住民への講演会や市や社協の外部委員などの活動を行いました。また、学生と共に筑北村や県社協の行事にケアセラピストのハンドケアを行うなど地域住民との交流を行うことができました。さらに、介護福祉学科開設30周年を迎え、記念式典等を行うことができました。例年ボランティアとして参加している松本マラソンでは実習期間と重なり参加できない学生が多くおりましたが、松本短期大学として、学生19名、教職員7名が参加いたしました。

新型コロナウイルスにより令和2年度より中止となっていた学園祭「おとぎ祭」は実行委員会（自治会）を中心として検討を重ねた結果、10月に開催いたしました。同日に公開講座を開催したこともあり、従来よりも日程・規模を縮小しましたが、学生だけでなく一般の方も多く来場し、地域とのつながりを実感できる有益なイベントとなりました。

b. 自治体との連携

本学は筑北村および、笹賀地区福祉の地域づくり協議会、松本市と包括協定・連携協定を締結しています。令和5年度は新たに安曇野市と連携協定を締結いたしました。令和6年度は協定に基づいた連携活動について、松本看護大学と協働して積極的に行っていきたいと考えています。

c. 介護福祉学科開設30周年

令和5年11月25日に介護福祉学科開設30周年として記念式典やシンポジウムやホームカミングを行いました。約100名の地域の方や卒業生が参加し、地域の皆様や卒業生等に「地域への感謝と恩返し」を行うことができました。

d. その他

公開講座開催

令和5年度は、5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、中止前の開催頻度と同じ年3回実施しました。開催にあたっては松本看護大学・松本短期大学共同で行い、企画・運営は地域交流委員会を主体として行われ、各校、各学部学科における特徴を活かした地域住民向けの講座を開催いたしました。

公開講座の開催状況は松本看護大学の項目にて記載しています。

5) 施設・設備の整備計画

2. (1) 学校法人松本学園 事業の概要に記載しています。

6) 運営に関する計画

a. 認証評価に向けた自己点検・評価活動

今年度も評価マニュアルを基にしたアンケートを全教職員に実施しました。このアンケートは1年間の自己点検を行うとともに、回答することで評価基準を目にすることができ、自己点検・評価報告書を作成する上でどのような根拠資料を提示すべきかを全教職員が認識できるように行っている自己点検・評価活動です。

令和4年度に、学習成果を質的・量的に測定するため、「学びの軌跡」を作成しました。令和5年度よりすべての

学生に対して活用し、学習成果の到達度、課題等を学生・教員が把握することが可能となりました。適切に運用していくため、令和 6 年度の卒業生を持って内容・運用方法の改善を行っていきたいと考えています。

7) その他

① 民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生の状況

介護福祉学科で受け入れを行っている民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生について、令和 4 年度入学生 3 名中 2 名（1 名退学）が令和 6 年 3 月 15 日に卒業いたしました。令和 5 年度は訓練生の受け入れはありませんでした。なお、令和 6 年度は 4 名の訓練生を受け入れました。

② 喀痰吸引等研修事業・介護福祉士実務者研修

喀痰吸引等研修事業

法改正により、介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等による痰の吸引等が可能となりました。本学では平成 24 年度より研修教育を行っています。令和 5 年度は 59 名が受講し、年度末までに 53 名が修了しております。

介護福祉士実務者研修事業

平成 28 年度から介護福祉士の国家試験に挑戦する「実務者ルート」では、3 年以上の実務経験と 450 時間以上の実務者研修を修了していることが必要となりました。本学では、通信課程の介護福祉士実務者研修を行うための指定を受け、平成 26 年度からこの研修を開始しました。平成 30 年度より、ユマニテク医療福祉大学（学校法人みえ大橋学園）と業務提携を行い、研修を実施しています。令和 5 年度の受講者は 5 名でした。

③ FD・SD 活動

授業評価

- ・授業評価（VOICE）は Forms（インターネット）にて回答
- ・自由記載の部分は該当教員へ配布し、フィードバックを Teams（インターネット）上で公表。

学生満足度調査

- ・年度末にインターネット（Forms）を利用したアンケートを実施。結果については拡大教授会にて配布。

授業参観

- ・各専任教員が他者の授業を参観し、自己の課題、改善策についての振り返りを実施。

FD 研修会

- ・演題：自己点検・評価活動と認証評価に関する研修会

講師：福田明氏（松本短期大学介護福祉学科教授、ALO）、山藤宏子氏（松本短期大学幼児保育学科准教授・副ALO）

日時：令和 5 年 8 月 9 日（水）13：00～14：30

備考：FD/SD 合同研修会として実施、評価委員会との共催

- ・演題：令和 6 年度短期大学認証評価 ALO 対象説明会（ZOOM によるオンライン研修）

講師：原田博史氏（大学・短期大学基準協会理事長）ほか

日時：令和 5 年 8 月 23 日 13：00～16：50

備考：FD/SD 合同研修会として実施、評価委員会主催

- ・演題：幼児保育学科・介護福祉学科実習担当教員による実習教育に関する情報交換

日時：令和 5 年 9 月 13 日（水）13：00～14：30

- ・演題：合理的配慮の実践と課題

講師：矢崎久氏（松本大学総合経営学部総合経営学科准教授）

日時：令和 6 年 2 月 28 日（水）13:30～15：00

備考：松本看護大学共催

④ 図書館

「松本短期大学研究紀要第 34 号」を令和 6 年 3 月 31 日付けで発刊しました。

令和 6 年 3 月末現在 蔵書数 図書 52,401 冊、DVD 他視聴覚教材 1,896 点（松本看護大学・松本短期大学としての蔵書数）

<今後の課題>

- ・入学生定員数確保のための対策
- ・地域との連携強化
- ・学生の満足度向上（FD 活動の活発化）
- ・令和 6 年度認証評価への対応

参考 令和 5 年度の各学科の学生動向は下表のとおり。

学科	年度当初在籍者数	退学者数	除籍者数	卒業者数	学位授与数	年度末在籍者数
幼児保育学科	176	3	0	104	104	69
介護福祉学科	49	3	0	25	25	21
計	225	6	0	129	129	90

(3) 松本短大幼稚園 事業の概要

<計画の進捗状況>

幼稚園部

1. 令和5年度の取り組み

令和2年度4月より、幼稚園型認定こども園として幼稚園部と保育園部の教育、保育が始まり4年目となりました。

(1) 幼稚園の教育方針

幼稚園での教育は、生きる力の基礎を培うため、保育者の指導のもと毎日の生活や、様々な活動や体験、遊びを通しての学びを大切にしながら、その後の教育の基礎が培われることを大切にしながら保育を行っています。文部科学省から施行されている「幼稚園教育要領」の指導内容を基に、幼稚園独自の創意工夫を加えて、幼稚園の教育目標を定め保育を行い、「幼稚園教育要領」のなかで、特に

1. 生きる力の基礎の育成、
2. 豊かな心と健やかな体の育成

この二点に力を入れ指導を行い、指導の内容としては、下記の五つの領域をあげています。

- ① 健康な心と体を育てる領域……「健康」
- ② 自立心、人との関わりに関する領域……「人間関係」
- ③ 思考力の基礎を育てる領域……「環境」
- ④ 言葉の獲得に関する領域……「言葉」
- ⑤ 感性と表現に関する領域……「表現」

この五領域の指導内容を基本に、松本短大幼稚園で特に力を入れて指導する内容として、下記の4の柱をあげています。

ア. 気づいて、試して学ぶ力

学びのある遊びや、さまざまなことに気づき、試しながら活動をして遊ぶ楽しさを経験、体験。また、外国人の先生による英語に触れ、異文化に関わる体験をする。

イ. できた、できたが増える力

運動プログラムや、山雅スポーツ指導を通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた!できた!が増え、自信と意欲を育てる。

ウ. 気持ちがつながる力

異年齢の関わり、集団に関わることにより、思いやりや 気持ちがつながる力を身に着ける。

エ. 見て触れて、感じる力

信州型自然保育の取り組みにより、自然の中でのびのび遊び、自己充実の活動をおこなう。

この4つの柱の指導内容のもと、幼稚園の生活や体験、遊びを通しての総合的な学びを日々大切にしながら保育を行い、短大幼稚園の特徴ある指導の取り組みとして、毎月の運動プログラムの 取り組み、また英語教育では、外国人講師の先生においで頂き 英語や異文化に触れる体験もおこなっています。そして長野県ならではの、信州型自然保育に 取り組み、昆虫飼育や野菜づくり、園外保育で自然に触れる活動を行ない、自己充実のための保育や 活動を大切にしています。

このような4つの柱の設定により、指導内容をより明確に、具体的にすることができた。そして、日々の生活のなかで、一人ひとりの子ども理解を深め、子どもに寄り添い、一人ひとりの指導のねらいをもち、保育を行うことを心がけ、日々の遊び、活動、体験の様子を記録して保育を省みて、明日の保育へとつなげていくことにしています。

(2) 5 年度の幼稚園教育内容

今年度は、コロナも第 5 類となり、今まで通り感染予防をしながら、保育を実施しました。特に「保育の見える化」に力を入れ、運動会、クリスマス会、ひな祭り会などの活動を通して、クラス全体の子どもの、活動における取り組みの様子を写真に撮り、活動に取り組む様子等を保育者に届けることとしました。プロのカメラマンをお願いして行事の子どもの様子を提供することができるようになりました。

幼稚園の特色ある指導においては、

ア. 気づいて、試して学ぶ力では

日々の生活や、学びのある遊びの環境設定、遊びからの学びを大切にしながら、毎月、2 回～4 回の外国人の先生による、英語に触れる体験や活動を行い、生活のなかにも英語を取り入れる機会を作りました。

イ. できた できたが増える力では

運動プログラムを通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた、できたが増え、自信がつき意欲的に行動できるようになりました。

ウ. 気持ちがつながる力では

異年齢で園外保育に出かけ、お兄さん、お姉さんにあこがれの気持ち、小さい子ども達を思いやる気持ちももてた。また、松本短大の学生さんが幼稚園に交流で来てくれ、短大の授業に園児も参加させていただき、学生さんとの楽しい交流活動をすることができました。

エ. 見て触れて、感じる力では

信州型自然保育の取り組みにより、昆虫を育てたり、野菜を育て収穫したり、園外保育に出て自然に触れたり、年長組は弘法山での遊び、林業センターでの山遊びを取り組みました。

2. 園児数の概要

①令和 5 年度園児数（令和 6 年 3 月末時点）

5 歳児	1 号 14 名			
	2 号 21 名	計 35 名		
4 歳児	1 号 22 名			
	2 号 23 名	計 45 名		
3 歳児	1 号 18 名			
	2 号 25 名	計 43 名		
満 3 歳児	1 号 7 名	計 7 名	総数 130 名	

3. 保護者とのかかわり

- ① 幼稚園行事への参加 なし
- ② 保育参観、年間 2 回 ・ 玄関訪問 ・ 個別懇談会 ・ 保育参観 1 回 7/1

4. 園内研究保育や、園外の研修会参加

- ① 園内研修会 11/11、3/6 子どもの育ちの様子
- ② 新任者研修 8/26 青い鳥幼稚園 1 名参加
- ③ 職員研修会 5/19（5 名）、1/25（4 名） 柳澤秋孝（松本短大幼稚園非常勤講師）による研修会

5. 教育実習受け入れ・短大授業参加等

- ① 松本短期大学 2 年生 実習 8 名・5/29～6/9（見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究

保育)

- ② 松本短期大学1年生 実習 7名・11/6～11/17(見学観察実習・子どもたちとのかかわり・部分実習)

6. 預かり保育, 未就園児親子教室, 体験保育

①年間 1号認定預かり人数

・夏休み預かり保育	13日間	211名
・冬休み預かり保育	4日間	70名
・春休み預かり保育	2日間	40名

②年間 2号認定特別保育

・土曜日希望保育	48日	297名
・お盆特別保育	6日	130名
・年始特別保育	2日	59名

③未就園児親子教室 毎月平均 親子 20組程参加

未就園児親子教室の活動内容

- ・4月 2回・幼稚園での遊び、砂遊び、手形スタンプ
- ・5月 3回・新聞あそび、運動あそび
- ・6月 3回・新聞あそび、年長組交流、楽器づくり
- ・7月 2回・おまつりごっこ、七夕製作
- ・8月 1回・入園説明会
- ・9月 2回・園庭あそび、幼稚園開放
- ・10月 3回・歯のお話、運動会、ハロウィンパーティー
- ・11月 2回・クリスマス製作、運動あそび
- ・12月 1回・クリスマス会
- ・1月 2回・凧づくり、こまづくり
- ・2月 1回延期
- ・3月 1回・まとめの会、手形制作

年間 22回を行う インフルエンザ予防のため1回延期となりました

④体験保育

- ・6/6年長組「朝の会」「バス乗車体験」 7/11年長組「おまつりごっこ」

⑤未就園児開放 4回 5月, 6月, 8月, 9月

7. 園外保育

- ①今井プール ・ 6/21、26、 7/6、7、10、12、18

- ②松本見学 ・ 6/7

- ③消防署見学 ・ 11/17 雨天延期→12/4

8. 特別保育活動

- ①運動保育士の先生による、課外運動遊びの指導を、毎月1～2回、運動遊び指導希望者が、保育終了後 指導を受けました。

- ②山雅サッカースポーツクラブの運動指導を6月から2月まで、毎月1回の指導を受けました。

・年間、年少組 2回、年中組 8回、年長組 10回の指導を受けました。

- ③外国の先生による、英語教室の指導を学年ごとに、4月より受けました。 月1回～3回

- ④課外英語教室が4月より 月2回 年中・年長園児が保育終了ご指導を受けました。

⑤遊ボール 年長組 5/17 10/27

9. 今後の課題

〈教育内容のさらなる充実〉

①遊びを通しての学び、遊びからの学びを大切にして、学びのある遊びを環境設定して子ども達に提供していきます。

②課外保育活動が充実してきています。さらに保育者にも啓発していきます。

〈未就園児教室の充実〉

①保育補助の先生に入ってください手厚い保育を行います。

②未就園児教室のほかに、幼稚園開放日を毎月 1 回行い、ひよこ組以外の皆さんにも気軽に幼稚園においでいただき、幼稚園を知っていただくようにしました。10 月からは 0 歳児からもひよこ組に入れるようにしました。

保育園部

幼稚園型認定こども園として、令和 2 年 4 月より保育園部が開園し、保育園を経験された先生方を中心に、年間指導計画、期ごとの指導計画、週案、日案を立て、指導の反省を行い、一人ひとりの様子を記録に残し子どもの育ちを確認し合いました。そして保育園ならではの、チーム保育に取り組み、保育者皆で協力し合い保育をおこない、5 年度も、コロナウイルス感染予防対策をとりながら、保育を進めました。

1. 保育園部の乳幼児期の指導のねらい

①健やかに伸び伸びと育つ

- ・健康な心と体を育て、安全な生活をつくりだす基礎を培う。
- ・身体感覚が育ち伸び伸び活動する。
- ・食事、睡眠、排泄等のセス活リズムの感覚が芽生える。

②身近な人と気持ちが通じ合う

- ・身近な大人との信頼関係を育て人とかかわる力の基礎を培う。
- ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、信頼感が芽生える。

③身近なものとかかわり 感情が育つ

- ・身近なものに、親しみや興味好奇心を持つ。
- ・身近な環境に、見る、触れる、探求する等自分から関わろうとする。

2. 保育園部での指導、活動の取り組み

(1) 保育者と一緒に生活をしながら、生活習慣を学んだり、保育者と一緒に遊んだり、様々な活動をしたり、好きな遊びをおこない、遊びを通しての学びを大切にしています。

①子どもの発達状態、興味等を考慮して「遊びの環境設定」を行い、保育者と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びに取り組みました。

②保育者と一緒に、遊ぶ、食べる、睡眠をとる、おむつ交換や排泄を行い、生活習慣を身に付けました。

③四季折々の季節に応じた遊びを大切にします。

- ・ 4 月、5 月 …園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。
- ・ 6 月、7 月、8 月…水遊び、プール遊び。
- ・ 9 月、10 月、11 月…園庭での遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。
- ・ 12 月、1 月、2 月…室内遊び、雪遊び。

・ 3月…園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。

④四季の行事を知り、体験しました

- ・ 5月…端午の節句、鯉のぼり
- ・ 7月…七夕
- ・ 11月…やきいも会
- ・ 12月…クリスマス会、餅つきごっこ
- ・ 1月…お正月、獅子舞
- ・ 2月…節分
- ・ 3月…ひな祭り

⑤丈夫な体づくりや、自然に触れる四季折々の散歩

- ・ 4月 … 15回 ・ 9月 … 6回 ・ 2月 … 13回
- ・ 5月 … 14回 ・ 10月 … 12回 ・ 3月 … 11回
- ・ 6月 … 6回 ・ 11月 … 10回
- ・ 7月 … 1回 ・ 12月 … 12回
- ・ 8月 … 0回 ・ 1月 … 7回

⑥散歩の場所

- ・ 幼稚園の裏の公園、9丁目公園、6丁目の公園、5丁目の公園、3丁目の公園、松原中央公園、松原南部公園、松原時計台、馬場家住宅

⑦毎月の製作活動

- ・ 毎月、保育者と一緒に製作活動を行いました。

(2) 健康及び環境衛生

- ①登園時の体温測定、健康観察、保育中の体調変化に応じて保護者連絡等のより体調管理を行いました。
- ②保育室内外に危険な場所がないか、点検対応を行い怪我の防止に努めました。

(3) 食育の推進

- ①自園給食にともない 給食を自分で食べようとする意欲を育て、手を使い、スプーンフォークを使用して食べるように努めました。
- ②好き嫌いなく、なんでも食べられるように努めました。一年間を通して、自分達の作った野菜をテーマに野菜を身近なものとして、好き嫌いなく食べるように保育を進めました。

(4) 防災、避難訓練

- ①毎月1回の避難訓練を行いました。
 - ・ 火災想定避難訓練
5月、6月、7月、11月、1月
 - ・ 地震想定避難訓練
9月、10月、12月、2月、3月
 - ・ 不審者想定避難訓練
8月

(5) 職員、保護者行事の参加

- ①職員玄関訪問 …4/21、24、25、26、27、28、5/1、2
- ②学級懇談会 …5/23
- ③保護者引き渡し訓練 …9/1 地震発生の保護者引き渡し訓練を行いました。
- ④運動会 …9/30 0・1・2歳児運動会参加

⑤「おおきくなったね会」…1/26 進級前の子ども達の活動発表の様子を見て頂きました。

3. 5年度保育園部の状況

①5年度園児数

- ・0歳児 … 3名
- ・1歳児 … 15名
- ・2歳児 … 13名 計 31名

②年間途中入園

- ・0歳児 … 3名
- ・1歳児 … 3名
- ・2歳児 … 2名

③年度途中退園者

- ・0歳児 … 2名
- ・1歳児 … 2名
- ・2歳児 … 1名

④年間保育日数 … 294日 (3月休園 3月30日、31日 2日間)

4. 子育て支援の取り組み

- | | | | |
|-------------|---------|---------|------|
| ①土曜日希望保育日 | 年間49日開園 | 土曜保育参加者 | 130名 |
| ②新年度特別希望保育 | 2日間開園 | 参加数 | 20名 |
| ③お盆特別希望保育 | 6日開園 | 参加者 | 48名 |
| ④運動会後特別希望保育 | 1日開園 | 参加者 | 15名 |
| ⑤年始特別希望保育 | 2日開園 | 参加者 | 19名 |
| ⑥卒園式特別希望保育 | 1日開園 | 参加者 | 10名 |
| ⑦年度末特別希望保育 | 5日開園 | 参加者 | 83名 |

5. その他の取り組み

- ①園児の様子を、写真を通して保護者の方に知っていただくために、月1回の「あゆみ」のおたよりに写真を掲載してお知らせしました。
- ②園児の昼寝をしている時間を利用して、職員の打ち合わせ、保育について話し合い、保育者同士の関わり合い、協力体制を深めました。
- ③保護者会を閉じた事で、保護者会費でまかなわれていた費用については、機会ある毎に松本短大よりいただいている旨を保護者に伝えました。

6. 今後の課題

- ・「保育環境の中で一番大切なのは、保育者である」ということを心して、保育者皆で協力し合い、保育を進めていきます。

補助金を活用した施設・設備の整備状況

- 2.(1) 学校法人松本学園 事業の概要に記載しています。

3. 財務の概要

(1) 収支の状況

過去5年間の収支の推移は、[別紙9]のとおりである。事業活動収入が、令和5年度においては前年度より、約36,670千円減の約854,374千円になっており、事業活動支出は前年度より約40,872千円減の約915,522千円となっている。しかし、相変わらず、基本金組入前の当年度収支差額において、約61,149千円ものマイナスとなっている。これは、松本看護大学を設置したが、まだ、学生は3学年のみに留まり、また、短大幼児保育学科は1、2年合わせて入学定員200名のところ、1、2年合わせて176名であり、また、介護福祉学科は、1、2年合わせて入学定員80名のところ、1、2年合わせて49名で、両学科とも、定員割れを起こしていること、及び令和6年度の入学生が全ての学部、学科で定員割れを起こし、前受金が大幅に減少したことが、収入が約36,670千円減った原因であると思われる。支出は、事業活動支出において、人件費が約26,738千円減となり、教育研究用経費も約13,073千円減となっているが、収入減のため、基本金組入前の当年度収支差額において、前述の通り、約61,149千円ものマイナスとなっている。前年度より人件費、教育研究経費の減少を図ったが、収入減のため、当年度収支差額も、約65,357千円の支出超過となっている。各部門の当年度収支差額は[別紙11]のとおりであるが、看護大学は△29,533千円、幼児保育学科は10,381千円、介護福祉学科は△8,844千円、幼稚園は△24,893千円であり、法人全体では前述の通り、65,357千円の支出超過である。支出には減価償却額が入っているとはいえ、当年度収支差額は当然プラスとならなければならない。

また、現金・預金は令和4年度に比べ、約43,101千円増の約587,462千円となっている。各部門の繰越支払資金各部門増減一覧表は[別紙11]の通りであるが、介護福祉学科は△12,184千円、幼稚園は△4,777千円で支出超過であり、幼児保育学科は、46,877千円増、看護大学は、4,608千円増であり、法人全体では前述の通り、約43,101千円増である。このところ現金・預金の減少が続いていたが、若干ではあるが増加に転じた。しかし、まだ総額約5億8千7百万円では、少なすぎる。入学学生数を増やし、現金・預金増を図っていかねばならない。

(2) 主要な財務比率について

本学の令和4年度、5年度の財務比率及び令和4年度の全国短期大学法人平均財務比率は、[別紙10]の通りである。本学園は、大学法人であるが、他の大学法人に比較し看護学部のみのも本当に小規模の大学法人であるので、短期大学法人の財務比率との比較をした。経営状況を示す事業活動収支差額比率（基本金組入前当年度収支差額を事業活動収入で除したもの）においても、全国平均がマイナス2.0%（令和4年度）であるのに対し、本学は平成4年度がマイナス7.3%、令和5年度はマイナス7.2%になっており、経営状況は、ほんの少し改善したとはいえ、まだまだ有ってはならない数字であると言えよう。人件費比率は、令和4年度及び令和5年度とも72.6%で全国平均（令和4年度は、60.1%）を大幅に上回っている。経営的には50%以下が望ましいと言われており、今後とも人件費の削減に取り組んでいく必要がある。また、前述の通り、令和6年度において、入学生数は大学、短大すべての学部、学科で定員割れを生じ、大学は5名、短大幼児保育学科は47名、短大介護福祉学科は27名もの人数が定員に達しなかった。従って、令和6年度においては、大学は1～4年生すべてが在籍するとはいえ、収支の改善はあまり期待できない。今後、収支の改善を図るためには、大学、短大とも学生の確保に特に力を入れる必要がある。

(3) 主な施設・設備の整備状況

令和6年度は、現金預金の増加を図るため、なるべく、施設・設備の整備は、必要最小限に留める必要がある。また、施設・設備も一応整備されたので、取替え更新程度に抑えていく必要が有るものと思われる。

学校法人松本学園 役員・評議員名簿

令和6年3月31日現在

職名	氏名	選任条項		備考
理事長・評議員	銭坂久紀	5-2 / 6-1-1	21-3	
理事・評議員	木内義勝	6-1-1	21-1	
理事・評議員	竹岡雄一郎	6-1-2	21-1	
理事・評議員	三井経光	6-1-2	21-3	
理事・評議員	上條温	6-1-3	21-3	
理事・評議員	上條節子	6-1-3	21-3	
理事・評議員	柳澤秋孝	6-1-3	21-3	
監事	伊藤隆	7-1	—	
監事	松川幸寛	7-1	—	
評議員	高山知佳	—	21-1	
評議員	玉井和宏	—	21-1	
評議員	渡邊涉	—	21-1	
評議員	手塚富喜子	—	21-2	
評議員	鳥羽寿々子	—	21-2	
評議員	柳沢佳澄	—	21-2	
評議員	窪田高明	—	21-3	
評議員	長岡利雄	—	21-1-3	

令和5年度 専任教職員

別紙2

令和6年3月31日現在

No.	職名	氏名	
【学校法人松本学園】			
1	理事長	銭坂 久紀	
【松本看護大学】			
2	学長・教授	上條 節子	
(看護学部)			
3	副学長・学部長・教授	小林 たつ子	
4	教授	今井 栄子	
5	教授	金子 潔子	
6	教授	三輪 憲永	
7	教授	百瀬 ちどり	
8	教授	原岡 智子	
9	教授	藤川 君江	
10	教授	鮎川 昌代	
11	教授	小林 由美	
12	准教授	関永 信子	
13	准教授	横山 芳子	
14	准教授	山下 恵子	
15	講師	伊藤 寿満子	
16	講師	近藤 恵子	
17	講師	垣内 いづみ	
18	講師	塩澤 綾乃	
19	講師	奥原 香織	
20	講師	高下 梓	
21	講師	間瀬 壽美	
22	助教	宮坂 光長	
23	助教	木村 久枝	
24	助教	倉科 恵里	
25	助教	五十嵐 佳寿美	
26	助教	牛山 陽介	
27	助教	里見 明子	
28	助手	笠原 潮美	
29	助手	荻久保 弘子	
30	助手	大谷 健史	

No.	職名	氏名	
【松本短期大学】			
31	学長・教授	木内 義勝	
(幼児保育学科)			
32	学科長・教授	山田 真治	
33	教授	生田 恵津子	
34	教授	永石 喜代子	
35	教授	白金 俊二	
36	教授	田中 秀明	
37	准教授	山藤 宏子	
38	准教授	米窪 洋介	
39	講師	高橋 典子	
40	講師	黒田 和子	
41	講師	田岡 紀美子	
42	助教	齋藤 博紀	
(介護福祉学科)			
43	学科長・教授	丸山 順子	
44	教授	合津 千香	
45	教授	福田 明	
46	講師	齋藤 真木	
47	講師	武井 浩子	
【事務局】			
48	法人事務局長・事務長	竹岡 雄一郎	
49	学生部長・入試広報室長	渡辺 渉	
50	教務部係長	荒井 京子	
51	主任	小松 昭和	
52	主任	山本 勇	
53	主任	藤森 永理子	
54	主任	坂井 祐二	
55	図書館司書	下澤 純奈	
56	主事	花村 仁美	
57	主事	上條 美穂子	
58	主事	澤田 麻貴	
59	主事	青柳 円	
60	主事	互 加代	
61	主事	安達 聖華	
62	主事	山田 祐子	

令和5年度 松本看護大学・松本短期大学 非常勤講師名簿

令和6年3月31日現在

No.	職名	氏名	
1	非常勤講師	荒 敏昭	
2	非常勤講師	伊藤 真之助	
3	非常勤講師	漆戸 敏夫	
4	非常勤講師	奥村 雅代	
5	非常勤講師	岳 鳳鳴	
6	非常勤講師	亀井 智泉	
7	非常勤講師	川上 由行	
8	非常勤講師	木下 守	
9	非常勤講師	行田 輝廣	
10	非常勤講師	後藤 泰一	
11	非常勤講師	澤野 紳二	
12	非常勤講師	田所 治	
13	非常勤講師	内藤 美智子	
14	非常勤講師	益山 代利子	
15	非常勤講師	間瀬 壽美	
16	非常勤講師	三沢 緑	
17	非常勤講師	水野 尚子	
18	非常勤講師	三村 仁志	
19	非常勤講師	李 丹丹	
20	非常勤講師	Patrick Murphrey Carrigan	
21	非常勤講師	飯田 しのぶ	
22	非常勤講師	伊東 和広	
23	非常勤講師	高倉 美和	
24	非常勤講師	金枝 真佐尋	
25	非常勤講師	鎌倉 哲子	
26	非常勤講師	黒澤 優子	
27	非常勤講師	齊藤 俊子	
28	非常勤講師	中倉 典子	
29	非常勤講師	野田 あゆ子	
30	非常勤講師	花野 希久美	
31	非常勤講師	原田 春海	
32	非常勤講師	古屋 顯一	
33	非常勤講師	山口 真理	
34	非常勤講師	輪湖 直子	

松本短期大学 令和5年度 進路状況

令和6年4月現在

学科等	卒業者数(名)	就職			進学	就職希望なし
		希望者数(名)	内定者数(名)	内定率	決定者数(名)	(家居、一時的な仕事、就職準備、不明等)
幼児保育	104	100	100	100.0%	1	3
介護福祉	25	24	24	100.0%	1	0
計	129	124	124	100.0%	2	3

<幼児保育学科>

県内就職者85名、県外就職者15名、進学1名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
公務員	43	43.0%	正規14、非正規29(保育士・保育教諭43)
私立保育園	21	21.0%	
私立幼稚園	4	4.0%	
私立認定こども園	10	10.0%	
児童養護施設等	4	4.0%	児童養護施設4
その他の社会福祉施設	13	13.0%	障がい者支援施設3、放課後デイサービス3、その他7
その他企業等	5	5.0%	
進学	1	—	東洋学園大学
その他	3	—	アルバイト3
合計(名)	104	100.0%	

<介護福祉学科>

県内就職者24名、県外就職者0名、進学者1名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
特別養護老人ホーム	18	75.0%	
有料老人ホーム	1	4.2%	
デイサービス・デイケア	1	4.2%	
障害者支援施設	1	4.2%	
看護小規模多機能型居宅介護	1	4.2%	
病院	1	4.2%	
自営業	1	4.2%	
進学	1	—	日本福祉大学
その他		—	
合計(名)	25	100.0%	

松本看護大学 令和6年度入学試験 入試状況一覧表

令和6年4月3日現在

学部学科	試験区分	志願者数	合格者数	入学者数	備考
看護学部 看護学科 募集定員70名	総合型選抜	13名	13名	12名	
	指定校推薦選抜	31名	31名	31名	
	公募推薦選抜	7名	7名	7名	
	社会人選抜	1名	1名	1名	
	第一期一般選抜	23名	22名	10名	
	第二期一般選抜	5名	5名	3名	
	追加募集	1名	1名	1名	
	計	81名	80名	65名	92.9%

松本短期大学 令和6年度入学試験 入試状況一覧表

令和6年4月3日現在

学科	試験区分	志願者数	合格者数	入学者数	備考
幼児保育学科 募集定員100名	総合型選抜Ⅰ期	5名	5名	5名	
	総合型選抜Ⅱ期	2名	2名	2名	
	総合型選抜Ⅲ期	0名	0名	0名	
	指定校推薦選抜	45名	45名	45名	
	公募推薦選抜	1名	1名	1名	
	社会人選抜	0名	0名	0名	
	再入学	0名	0名	0名	
	第一期一般選抜	0名	0名	0名	
	第二期一般選抜	0名	0名	0名	
	転科	0名	0名	0名	
	計	53名	53名	53名	53.0%
介護福祉学科 募集定員40名	総合型選抜Ⅰ期	1名	1名	0名	
	総合型選抜Ⅱ期	1名	1名	1名	
	総合型選抜Ⅲ期	1名	1名	1名	
	指定校推薦選抜	7名	7名	7名	
	公募推薦選抜	0名	0名	0名	
	社会人選抜	0名	0名	0名	
	第一期一般選抜	0名	0名	0名	
	第二期一般選抜	0名	0名	0名	
	転科	0名	0名	0名	
	技専	4名	4名	4名	
	計	14名	14名	13名	32.5%

令和5（2023）年度 年間行事予定表 <松本看護大学・松本短期大学>

別紙6-1

前期

4月	5月			6月			7月			8月			9月		
	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	
1 土				1 木			1 土			1 火			1 金		
2 日				2 金			2 日			2 水			2 土		
3 月				3 土			3 月			3 木			3 日		
4 火				4 日			4 火			4 金			4 月		
5 水				5 月			5 水			5 土			5 火		
6 木				6 火			6 木			6 日			6 水		
7 金				7 水			7 金			7 月			7 木		
8 土				8 木			8 土			8 火			8 金		
9 日				9 金			9 日			9 水			9 土		
10 月				10 土			10 月			10 木			10 日		
11 火				11 日			11 火			11 金			11 月		
12 水				12 月			12 水			12 土			12 火		
13 木				13 土			13 木			13 日			13 水		
14 金				14 日			14 金			14 月			14 木		
15 土				15 月			15 土			15 火			15 金		
16 日				16 火			16 日			16 水			16 土		
17 月				17 水			17 月			17 木			17 日		
18 火				18 木			18 火			18 金			18 月		
19 水				19 金			19 水			19 土			19 火		
20 木				20 土			20 木			20 日			20 水		
21 金				21 日			21 金			21 月			21 木		
22 土				22 月			22 土			22 火			22 金		
23 日				23 火			23 日			23 水			23 土		
24 月				24 水			24 月			24 木			24 日		
25 火				25 木			25 火			25 金			25 月		
26 水				26 金			26 水			26 土			26 火		
27 木				27 土			27 木			27 日			27 水		
28 金				28 日			28 金			28 月			28 木		
29 土				29 月			29 土			29 火			29 金		
30 日				30 火			30 日			30 水			30 土		
31 月				31 水			31 月			31 木			31 日		

令和5（2023）年度 年間行事予定表 <松本看護大学・松本短期大学>

別紙6-2

後期

10月	11月		12月		1月(R6)		2月(R6)		3月(R6)	
	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学	松本看護大学	松本短期大学
1日	松本看護大学 指定校推薦選抜・社会人選抜 出願 期間11/1~10	松本短期大学 総合型選抜Ⅰ期 合格発表 指定校推薦選抜 出願期間 11/1~10	松本看護大学 指定校推薦選抜・社会人選抜 合格 発表	松本短期大学 指定校推薦選抜 合格発表	1月 元日	松本看護大学 後期定期試験(次2) 2/1~6	松本短期大学	1金	松本看護大学	松本短期大学
2月	後期授業開始(分2)	総合型選抜Ⅰ期 入学手続 11/2~14	指定校推薦選抜・社会人選抜 入学 手続12/2~13	指定校推薦選抜入学手続 12/2~13	2金	一期一般選抜入試	一期一般選抜入試	2土		
3火	文化の日	文化の日 オンラインポスターコンテスト(幼1)			3水			3日		
4水					4木	授業開始(幼1・2)		4月	通入試・再入試 出願期間3/4~ 9	総合型選抜Ⅰ期・通入試・再入試・再入試 出 願期間3/4~6
5木	午後・大学自治会ハレボール大会				5金			5月	クアセパラス特別講座(2/5~2/9)	二期一般選抜入試
6金		教育実習Ⅰ(幼1)11/6~11/17			6土			6火	臨時教授会(二期一般選抜 合否判 定) 新学季表(拡大)(最終判定)	臨時教授会(二期一般選抜 合否判 定) 新学季表(二期一般選抜 合否判 定)
7土	総合型選抜Ⅰ期入試(幼・介)				7日			7水	臨時教授会(二期一般選抜 合否判 定) 新学季表(拡大)(最終判定)	総合型選抜Ⅰ期・二期一般選抜 合否判 定) 新学季表(拡大)(最終判定)
8日					8月	成人の日		8木	二期一般選抜 合格発表	二期一般選抜 合格発表
9月	スポーツの日				9火	授業開始(次1・2)		9金	二期一般選抜 合格発表	二期一般選抜 合格発表
10火					10水	学科会(幼・介)		10土	二期一般選抜 入学手続2/10~22	二期一般選抜 入学手続 3/9~19
11水					11木	一期一般選抜 出願期間1/11~1/24		11日	看護師国家試験	
12木					12金	建国記念の日		12月		
13金		地域介護実習(介1)11/13~11/18			13土	臨時教授会(二期一般選抜 合否判 定) 新学季表(拡大)(最終判定)		13火	後期定期試験(幼1・2) 後期定期試験(幼1・2) 2/12/13~3/7	総合型選抜Ⅰ期・二期一般選抜 合 否判定) 新学季表(拡大)(最終判定)
14土	おとぎ話(案) 幼・小・中・高・大(案)				14日			14水	二期一般選抜 出願期間2/14~27	卒業生前日登校
15日	おとぎ話(案)				15月	総合型選抜Ⅰ期・公認推薦選抜・社 会人選抜 合格発表		15木	二期一般選抜 合格発表	卒業式 総合型選抜Ⅰ期・通入試・再入試・再 入試 合格発表
16月					16火	総合型選抜Ⅰ期・公認推薦選抜・社 会人選抜 入学手続12/16~28		16金	後期定期試験(幼1・2)	総合型選抜Ⅰ期・通入試・再入試・再 入試 入学手続3/16 ~22
17火					17水	教授会(拡大)		17土		
18水	教授会(拡大)				18木	指定校推薦選抜 入試		18日		
19木		指定校推薦選抜・総合型選抜・社 会人選抜 入試			19金	卒業研究発表会(幼)		19月	後期定期試験(幼1・2)	後期定期試験(幼1・2)
20金		公認推薦選抜 出願期間11/20~ 12/1			20土	教授会(拡大)		20火		春分の日
21土	午前・進学相談会	指定校推薦選抜・社会人選抜 出願 期間11/1~10			21日			21水	教授会(拡大)	教授会(拡大)
22日					22月	臨時教授会(指定校推薦選抜 入試 学科会(幼・介)		22木		
23月					23火	研究懇話の日		23金	卒業生誕生日	
24火					24水			24土		
25水					25木	総合型選抜 合格発表		25日		
26木					26金	総合型選抜 入学手続11/23~12/6		26月		
27金					27土	臨時教授会(指定校・社会人 合否判 定)		27火		
28土					28日	長野県教育センター研修(会場)		27水		
29日					28木			28水		
30月					29金			29木		
31火					30土			30火		
					31日			31水		

No.	職名	氏名			担当
1	園長	銭坂久紀			理事長・園長
2	嘱託職員 園長代行	高山知佳			園長代行・教育補助
3	副園長兼保育教諭	米窪あや子			0～2保育統括 2歳児
4	主任保育教諭 (保育園)	安坂美代子			満3歳児 未就園児ほか
5	主任保育教諭 (幼稚園)	森下恵美			満3歳児・未就園児ほか
6	副主任保育教諭 (幼稚園)	児玉麻美			年中：ゆり
7	保育教諭 職務分野別リーダー	上條由香子			年長：さくら 小学校接続担当
8	保育教諭 職務分野別リーダー	大日方愛夏			年少：ひまわり
9	保育教諭 職務分野別リーダー	古畑菜穂			0・1歳児
10	保育教諭 職務分野別リーダー	渡邊千裕			年少：すみれ
11	保育教諭	高橋美涼			2歳児
12	保育教諭	竹原聖奈			年中：すずらん
13	保育教諭	古本まみ			年長：ふじ
14	保育教諭	塚原樹里			年少：ばら
15	保育教諭	宮坂桃夏			0・1歳児
16	保育教諭	宮澤りお			2歳児
17	保育教諭	中村そら			0・1歳児
18	保育教諭	大久保愛加			0・1歳児
19	嘱託職員 保育士 職務分野別リーダー	高山小百合			0・1歳児
20	嘱託職員 保育教諭 職務分野別リーダー	南澤みゆき			2歳児
21	嘱託職員 保育教諭 職務分野別リーダー	樋口由佳代			幼稚園フリー
22	嘱託職員 保育士 職務分野別リーダー	村上規子			2歳児
23	嘱託職員 事務長	玉井和宏			幼稚園事務全般
24	嘱託職員 事務兼バス運転手	太谷桂			スクールバス運転ほか
25	非常勤講師 (保育教諭)	鳥羽壽々子			1歳児・幼稚園フリー
26	非常勤講師 (幼稚園教諭)	斉藤裕見子			預かり保育担当
27	非常勤講師 (保育士)	矢花康子			1歳児
28	非常勤講師 (保育士)	原好美			スクールバス乗車
29	非常勤講師	柳澤秋孝			体育指導
30	非常勤職員 バス運転手	高橋富二			スクールバス運転ほか

過去5年間の収支の推移

(単位：千円) (千円未満四捨五入)

資金収支計算書	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R04, R05差異
学生生徒納付金収入	490,777	496,462	527,209	580,613	578,309	△ 2,304
手数料収入	8,513	9,068	9,281	7,073	5,871	△ 1,202
寄付金収入	1,500	809	500	426	0	△ 426
補助金収入	267,326	522,621	224,842	248,744	244,653	△ 4,091
付随事業収入	8,837	23,285	23,526	23,215	18,584	△ 4,631
受取利息・配当金収入	878	281	153	167	204	37
雑収入	3,637	54,838	18,226	30,207	6,000	△ 24,207
人件費支出	422,289	533,826	612,420	644,562	617,820	△ 26,742
教育研究経費支出	75,618	110,135	134,708	133,251	121,700	△ 11,551
管理経費支出	57,207	93,718	72,724	70,030	69,495	△ 535
施設関係支出	308,597	587,014	32,248	524	0	△ 524
設備関係支出	18,718	186,067	41,580	17,521	6,585	△ 10,936
現金預金 (注)	1,212,536	880,019	563,475	544,361	587,462	43,101
事業活動収支計算書	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R04, R05差異
事業活動収入計	635,877	1,107,437	803,969	891,044	854,374	△ 36,670
事業活動支出計	640,252	877,335	933,970	956,394	915,522	△ 40,872
人件費	425,443	572,839	616,344	646,160	619,422	△ 26,738
教育研究経費	144,829	194,000	230,796	227,683	214,610	△ 13,073
管理経費	69,980	107,367	85,889	81,851	80,828	△ 1,023
基本金組入前収支差額	140,875	230,102	△ 130,001	△ 65,350	△ 61,149	4,201
当年度収支差額	△ 6,237	△ 512,856	△ 376,685	△ 72,130	△ 65,357	6,773
翌年度繰越収支差額	△ 153,198	△ 666,054	△ 1,042,739	△ 1,112,603	△ 1,176,976	△ 64,373

注 現金預金には、施設設備引当特定資産を含む。

	No.	番号	比 率 名	算式 (×100)	令和4年度		令和5年度	
					本法人	全国平均 短大法人	本法人	
事業 活 動 収 支 計 算 書	1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-7.3%	-2.0%	-7.2%	
	2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	65.2%	57.0%	67.7%	
			寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1%	1.6%	0.1%	
			経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0%	1.1%	0.0%	
			補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	27.9%	30.4%	28.6%	
			経常補助金比率	$\frac{\text{経常費等補助金}}{\text{経常収入}}$	27.9%	30.6%	28.7%	
	3	支出構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	72.6%	60.1%	72.6%	
			教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.6%	31.4%	25.1%	
			管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.2%	11.4%	9.5%	
			借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.2%	0.0%	
			基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	0.8%	9.5%	0.5%	
			減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.1%	11.4%	11.4%	
	4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	111.3%	105.5%	107.1%	
			基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	108.2%	112.7%	107.7%	
			経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-7.4%	-3.2%	-7.2%	
			教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-7.4%	-6.4%	-7.2%	
	※	1	教育活動でキャッシュフローが生み出せているか	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	-0.5%	5.2%	6.2%

※ 活動区分資金収支計算書

財務比率比較表

No.	番号	比率名	算式(×100)	令和4年度		令和5年度	
				本法人	全国平均 短大法人	本法人	
貸 借 対 照 表	1	自己資金は充 実されている か	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	89.5%	89.6%	90.0%
			繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	-37.6%	-22.5%	-40.9%
			基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	97.5%	100.0%
	2	長期資金で固 定資産は賄わ れているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	89.4%	95.2%	87.8%
			固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	84.0%	89.6%	82.3%
	3	資産構成はど うなっている か	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	80.0%	85.3%	79.0%
			有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	78.1%	59.4%	77.1%
			特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	1.2%	20.4%	1.2%
			流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	20.0%	14.7%	21.0%
			減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	48.4%	57.4%	51.4%
	4	負債に備える 資産が蓄積さ れているか	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	9.1%	27.5%	11.6%
			運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	0.6	1.8	0.7
			流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	419.7%	308.7%	518.8%
			前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	437.1%	524.1%	571.0%
			退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	20.6%	57.8%	20.4%
5	負債の割合は どうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	5.7%	5.7%	6.0%	
		流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	4.8%	4.8%	4.1%	
		総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	10.5%	10.4%	10.0%	
		負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	11.7%	11.6%	11.1%	
6	運用資産の保有 状況はどうか	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	32.0%	67.2%	32.6%	

当年度収支差額

単位：千円

法人	看護大学	幼児保育学科	介護福祉学科	幼稚園	合計
△ 12,468	△ 29,533	10,381	△ 8,844	△ 24,893	△ 65,357

繰越支払資金各部門増減一覧表

単位：円

	法人	看護大学	幼児保育学科	介護福祉学科	幼稚園	合計
前年度繰越し支払資金	0	28,620,297	433,742,980	44,665,012	37,332,906	544,361,195
翌年度繰越し支払資金	0	74,453,556	404,722,904	31,511,959	76,774,200	587,462,619
収支差額	0	45,833,259	△ 29,020,076	△ 13,153,053	39,441,294	43,101,424
学園勘定	△ 8,577,906	41,225,303	△ 75,896,984	△ 968,817	44,218,404	0
調整済み差額	8,577,906	4,607,956	46,876,908	△ 12,184,236	△ 4,777,110	43,101,424